

建設経済部目標

【概要】

建設経済部は、都市政策課・建設課・商工観光課・農林水産課・鳥獣対策室の4課1室で構成し、適正な土地利用の誘導、道路・橋梁及び水路の管理・補修及び整備、市営住宅、農林水産業、商工業、観光、労政及び有害鳥獣対策に関する施策に取り組んでいます。

建設経済部の目標（令和7年度）	建設経済部長
【基本方向】 <p>市民生活や経済活動にとって重要なインフラの整備と維持管理を、効果的、効率的に行うことで、快適で便利なまちづくりを推進します。</p> <p>農林水産業者や商工業者が安心して事業を営める環境整備に努め、産業の活性化を目指します。</p> <p>観光資源等を発掘し、市の魅力づくりに努めます。</p>	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">1 国・県・関連市町村との連携<p>関係各機関への要望や調整会議等の開催、また、各事業の課題に対する打ち合わせを密にし、各事業が計画的に実行されるよう情報の共有を図ります。</p>2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立<p>部内において会議等を開催し、情報共有を図ると共に災害時やイベント時の部内応援体制など連携を図り取り組みます。</p>3 事業の計画的な実施<p>各事業の履行状況を定期的に確認し、計画的かつ効率的な事業の実施が図られるよう取り組みます。</p>	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">1 国・県・関連市町村との連携<p>国・県等に対する要望活動を実施するとともに、関係機関等との情報共有や各種会議への積極的な参加により、様々な事業に関する計画や進捗状況等を把握することが出来ました。</p>2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立<p>年間4回定期的に行う部内係長以上会議や随時の部課長会議を通じて、職員間の情報共有を図り、様々な場面における連携体制を構築し、部内横断的に取り組みました。</p>3 事業の計画的な実施<p>年間4回定期的に行う部内係長以上会議において、部内各課室の実施事業について計画内容や進捗状況を確認、共有しました。</p><p>また、主要な事業については、随時個別に確認を行い、概ね計画どおりに実施することが出来ました。</p>

都市政策課目標

【概要】

都市政策課は、建設政策係・宅地係・建築住宅係の3係13名で構成し、適正な土地利用の誘導、建築行政、市営住宅の管理等に取り組んでいます。

都市政策課の目標（令和7年度）	都市政策課長
【基本方向】 都市計画、開発行為、建築等に関する情報を的確に発信し、まちづくりを推進するとともに、都市公園、市営住宅等の適切な維持管理、公共建築物の営繕業務を実施します。	
（達成すべき目標） 1 東京湾口道路建設促進に係る要望活動等の充実 令和6年度に立ち上げた「房総地域東京湾口道路建設促進期成同盟会」について、引き続き国や県へ要望活動を実施します。 また、更なる気運醸成を図るため、会報誌の充実やイベント等の研究を進めるとともに、新たな賛助会員の加入に向けた効果的なPR手法についても検討を進めます。 2 市民ふれあい公園の長寿命化対策の推進 「富津市公園施設長寿命化計画」に基づき、市民ふれあい公園内の老朽化が進む園内公衆トイレ1棟を改修し、計画的な長寿命化対策を推進します。 また、「富津市公園施設長寿命化計画」についても見直しを行います。 3 市営住宅事業 耐用年数が経過し、空き家となっている市営住宅については、順次解体を進め、維持管理に必要な経費の削減を図ります。 また、住居を必要とする者に対し、安定した居住環境を提供できるように市営	【目標の達成度】 1 東京湾口道路建設促進に係る要望活動等の充実 令和7年度は、11月21日には高梨千葉県副知事と、令和8年1月19日には金子国土交通大臣と面談し、要望活動を実施しました。 また、民間団体の集会にてPR活動を行うなどにより、賛助会員数も設立当時の43団体から64団体まで増加しました。 2 市民ふれあい公園の長寿命化対策の推進 「富津市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園内のスポーツコミュニティーゾーンにある公衆トイレ1棟について、男女共に洋式化や手洗い場の自動水洗化などの改修工事を実施しました。 また、「富津市公園施設長寿命化計画」についても、予備調査や健全度調査を行い施設の状態を確認しました。 3 市営住宅事業 耐用年数が経過し、団地全体で空き家となっていた市営住宅富津団地の解体を実施しました。 また、平野団地2棟、岩坂団地1棟、望井団地1棟の合計4棟の解体を実施しました。

住宅の入居募集を実施します。

4 管理が不全な空き家等の調査・指導

空き家の現況調査を行い、管理が不全な空き家等、危険な物件の所有者に指導を行います。

5 既存建築物等の総合的な安全対策

地震に強いまちづくりを目指し、耐震相談会の開催や耐震診断、耐震改修に対する補助金制度に加え、昨年に引き続き危険ブロック塀等除却事業補助金制度等を積極的に情報発信し、事業を推進します。

また、「富津市耐震改修促進計画」の改定に併せて、耐震改修事業補助金制度のさらなる活用を推進するため、補助率等の見直しについて検討を行います。

入居の募集については、2回実施し、合計3世帯に住宅の提供をしました。

4 管理が不全な空き家等の調査・指導

通常の調査・指導に加え、著しく危険な空き家については、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「特定空家等」に認定し、指導しました。

「特定空家等」の状況については、令和4年度に1件、令和5年度に1件、令和6年度に2件、令和7年度に6件認定し、合計10件となっています。

そのうち4件は、令和7年度末までに、空家所有者等による対策が講じられています。

5 既存建築物等の総合的な安全対策

「千葉県耐震改修促進計画」の改定を踏まえ、「富津市耐震改修促進計画」の改定を進め、令和8年4月に改定しました。

また、耐震改修事業補助金制度のさらなる活用を推進するため、「富津市木造住宅耐震改修事業補助金交付要綱」を改正し、補助率等の拡充を行いました。

建設課目標

【概要】

建設課は、管理補修係・用地係・建設係の3係16名で構成し、道路・河川・法定外の公共用財産・その他公共土木施設の整備・維持管理、市道の認定、廃止、変更事務、地籍調査の業務に取り組んでいます。

建設課の目標（令和7年度）	建設課長
利用者が安全・安心で快適に利用できるよう、道路・橋梁等の適正な管理を行うとともに、より良い環境で利用できるよう道路・橋梁等の効率的な施設整備を行います。 また、土地の有効利用を促進するため、地籍調査を計画的に実施します。	
【達成すべき目標】 1 道路整備事業の計画的な実施 （浅間山線・湊富士見台線） 工事については、円滑な実施ができるよう地元区及び関係機関との調整を図り進めます。 用地については、浅間山線及び湊富士見台線は残る地権者から用地を取得できるよう交渉を進めます。 2 各区長からの要望書等への対応 要望に対して、現地調査、関係部局との協議や打合せを実施し、早期に対応ができるよう連携を図ります。 3 長寿命化修繕事業の実施 橋梁（道滝橋、目鏡橋、宝竜寺無名橋） 法面（関山白狐線） 長寿命化修繕計画に基づく計画的な維持修繕等の実施により、道路ストックの長寿命化を図ります。 4 地籍調査事業 地籍を明確にし、土地の有効利用を促進するため、適切な工程管理を行い、事業の進捗を図ります。	【目標の達成度】 1 道路整備事業の計画的な実施 （浅間山線・湊富士見台線） 地元区及び関係機関との調整を図りながら施工可能箇所について、早期の工事発注を行いました。 用地については、湊富士見台線の用地取得が完了し、浅間山線については、適宜状況を確認し、交渉を進めました。 2 各区長からの要望書等への対応 現地調査、関係部局等との連携を図り、早期に対応しました。 3 長寿命化修繕事業の実施 橋梁修繕工事（道滝橋、目鏡橋）、 橋梁詳細設計（宝竜寺無名橋）、 法面修繕工事（関山白狐線）について、 地元区及び関係機関との調整を図りながら早期に工事等を発注しました。 4 地籍調査事業 千種新田地区の一部区域において、境界確認及び測量工程を 0.24 km ² 実施しました。 また、同地区内において、令和6年度に境界確認等を実施した区域（0.22 km ² ）では継続して地積測定、地積簿作成、閲覧工程を実施しました。

商工観光課目標

【概要】

商工観光課は、商工係・観光係の2係8名で構成し、商工業の振興や観光振興に係る主要な施策に取り組んでいます。

商工観光課の目標（令和7年度）	商工観光課長
商工及び観光に関する振興施策を検討し、市の経済振興及び活性化に必要な事業を推進します。	
<p>【達成すべき目標】</p> <p>1 鋸山の日本遺産認定に向けた観光資源の磨き上げ</p> <p>鋸山にライトアップ設備を設置することにより、夜の滞在を楽しめる環境を整備し、周辺地域の夜間の回遊性を高めることで、鋸山の観光資源としての魅力を向上させます。</p> <p>2 関係機関等と連携した創業支援及び事業承継支援の推進</p> <p>創業支援について、富津市創業支援等事業計画に基づく支援事業を関係機関等と連携して行います。事業承継については、事業者の抱える後継者問題や事業継続の課題に対し、商工会や専門機関等と連携して事業者をサポートします。</p>	<p>【目標の達成度】</p> <p>1 鋸山の日本遺産認定に向けた観光資源の磨き上げ</p> <p>委託事業者からの技術提案によって、ライトアップ設備一式（ライト6台）を整備し、地域事業者が独自に整備したサーチライトと併せて令和8年1月から鋸山「通称『ラピュタの壁』」のライトアップを開始しました。</p> <p>地域ではライトアップをきっかけとして照射時間に合わせた営業時間の延長やライトアップを活用した催しについて企画検討が行われており、鋸山の観光資源としての魅力向上と地域活性化に向けた機運醸成が図られました。</p> <p>2 関係機関等と連携した創業支援及び事業承継支援の推進</p> <p>商工会と連携して「ふつつ創業セミナー」を開催し、経営・財務・人材育成・販路開拓の分野について支援を行いました。</p> <p>このほか、包括連携協定を結ぶ三井住友海上火災保険㈱と「事業承継対策セミナー」を、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと「よろず支援拠点ピンポイントセミナー」を開催し、円滑な事業承継の進め方等について支援を行いました。</p> <p>また、創業準備段階での支援について課題となっていたことから、新たな支援制度について検討し、令和8年度から「富津市あなたのチャレンジサポート！創業支援事業」を実施することとし</p>

3 観光プロモーションの充実

市のウェブサイトやSNSだけでなく、観光協会などの観光関連団体や民間企業など、様々な情報発信主体と連携し、多様な情報発信手法を取り入れながら、効果的な観光プロモーションに取り組みます。

4 中小企業者等への円滑な資金調達の支援と利子補給事業の推進

中小企業者及び創業者に対し、市制度融資等を活用した資金調達が円滑に行えるよう支援するとともに、低金利での貸付ができるよう、利子補給事業の充実に向けた取り組みを進めます。

ました。

3 観光プロモーションの充実

観光ガイドブックやホームページ、SNS、PR動画といった様々な情報発信媒体の活用のほか、特産品の活用や近隣自治体との連携による観光キャンペーンなど、多様な手段での観光プロモーションに取り組みました。

また、令和8年1月に「富津市・鋸南町・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社」の3者で「鋸山及び周辺地域の振興に関する連携協定」を締結し、広域連携による周遊型観光推進体制の充実が図られました。

4 中小企業者等への円滑な資金調達の支援と利子補給事業の推進

市制度融資については、金融機関及び千葉県信用保証協会と連携し、円滑に資金調達ができるよう支援しました。

利子補給事業は、融資利率の引き上げに伴い、利子補給率を1.5%から2.0%に引き上げ、事業者の負担軽減を行いました。

農林水産課目標

【概要】

農林水産課は、鳥獣対策室・農政係・農林整備係・水産係の1室3係16名で構成し、農林水産業の振興、農業経営、農業の産業化、林業の発展及び森林の計画的な整備、農山漁村の振興、農林水産業施設整備及び維持管理に取り組んでいます。

農林水産課の目標（令和7年度）	農林水産課長
農林水産業の発展と農山漁村の振興及び農林水産業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業を推進します。	
<p>【達成すべき目標】</p> <p>1 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 関係機関、団体と連携し、認定農業者等経営感覚に優れた担い手や本市での就農を希望する新規就農者の育成・確保、地域おこし協力隊の活用による、次世代漁業の担い手の育成・確保に努めます。</p> <p>2 農地の利用集積の推進 令和6年度に策定した地域計画に基づいて、各地域で担い手への農地集積を推進するとともに、地域計画の見直しを図ります。</p> <p>3 森林環境整備事業の実施 令和4年度に実施した森林整備のための意向調査の結果を基に、森林環境譲与税を活用した森林整備を進めてまいります。</p> <p>4 海業の取組支援 地域の理解と協力のもと、漁港施設を有効活用し、水産物の消費拡大や交流促進など、地域の水産業を活性化する海業の取組に対して支援を行います。</p>	<p>【目標の達成度】</p> <p>1 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 担い手の確保について、農業では、新規の認定農業者が2経営体（2法人）、認定新規就農者が3名増加し、水産業では、地域おこし協力隊1名の活動により制度の活用による多様な人材の確保が図られました。</p> <p>2 農地の利用集積の推進 約17.3ヘクタールの農地を新たに認定農業者等の担い手へ集約しました。 また、1地域において地域計画の見直しを実施しました。</p> <p>3 森林環境整備事業の実施 志駒・梨沢地区の林道鹿原線沿線で、インフラ被害防止を目的とした間伐などの森林整備を実施しました。</p> <p>4 海業の取組支援 富津漁港富津地区においては、令和8年度に富津漁業協同組合が事業主体となり、地域で水揚げされる魚介類やノリなどの直売所、食堂を併設した潮干狩り場休憩施設の再整備を予定していることから、計画策定の支援を行いました。 また、富津漁港下洲地区においては、「富津漁港下洲地区海業推進地域協議会」の事務局として、新富津漁業協同組合が行う海業の取組支援を行いました。</p>

鳥獣対策室目標

【概要】

鳥獣対策室は、担務制3名で構成し、鳥獣による生活環境被害及び農作物被害防止に取り組んでいます。

鳥獣対策室の目標（令和7年度）	鳥獣対策室長
【基本方向】 鳥獣による生活環境及び農作物への被害防止を図るための事業を推進します。	
【達成すべき目標】 1 捕獲体制の充実 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣の捕獲・駆除に関する取組に対して支援を行います。 捕獲活動や捕獲機材の導入に係る経費の助成を行い、捕獲体制の充実を図ります。 狩猟免許の取得、更新について助成を行い、捕獲従事者の確保を図ります。 2 防除体制の充実 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣の防除に関する取組に対して支援を行います。 鳥獣被害防止施設の設置に係る経費の助成を行い、防除体制の充実を図ります。 3 生活環境における被害防止対策の推進 有害鳥獣被害対策に関する知識や経験を有した専門家による検討会や相談会等を開催し、「地域ぐるみの獣害対策」の	【目標の達成度】 1 捕獲体制の充実 捕獲頭数については、2月末時点で、イノシシ2,533頭、サル154頭、シカ2,186頭、キョン202頭であり、前年との比較では、イノシシは約2割の増、サルは約2割減、シカは前年並み、キョンは約5割増となっています。 捕獲機材については、箱わな（大型獣用）41基、箱わな（中型獣用）6基、くくりわな32基を導入しました。 狩猟免許の取得、更新の助成については、取得10名、更新18名に助成しました。 2 防除体制の充実 サル追払い用花火を、天羽地区に加え、大佐和地区の一部にも配布しました。 侵入防護柵設置事業については、電気柵1,739m、物理柵15,105mを整備し、電気柵は要望箇所すべてについて設置することができました。 物理柵については要望個所のすべてに設置することはできませんでしたが、設置目標は達成しました。 3 生活環境における被害防止対策の推進 有害鳥獣被害対策に関する専門家に講師を依頼し、捕獲従事者の捕獲技術向上のための技術講習会、地域で対策を行う

推進を図ります。

関係機関と連携し、緊急時の情報発信及びパトロールの実施や捕獲従事者向けの技術講習会を開催することにより被害防止対策を推進し、市民の安全確保を図ります。

4 ICT等新技术活用ニホンザル対策事業の実施

ニホンザルによる農作物被害を防ぐため、ICT等新技术を活用した効果的な捕獲を行い、群れの規模縮小または無くすことを目的とした事業を実施します。

「地域ぐるみの対策」を進めるための市民向け被害対策講演やサルの追払い技術講習会などを開催しました。

また、獣害の対策や悩みを解決するため、市内各地域に出向き獣害対策相談会を実施しました。

4 ICT等新技术活用ニホンザル対策事業の実施

「ICT等新技术の活用によるニホンザル対策事業」として、捕獲したサルに発信機を取り付け、行動監視を行うとともに、群れの捕獲に向け囲い罠を設置し、群れの餌付けを実施しています。